（様式3）

令和３年度（2021年度）公共事業再評価調書

基準年月日	令和３年８月１日

調書番号	06-11	所管部	農政部	作成責任者	農政部農村振興局農地整備課長　磯嶋　光世
				担当係	畑地整備係（内）27-572

Ⅰ　基本事項（基準日時点）

事業種別	道営土地改良事業費（水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備中山間地域型））	地区名	とうぶおりべ 東部居辺	市町村名	上士幌町

事業費	2,826 百万円	負担割合	国 55.0% 1,554 百万円	道 28.0% 791 百万円	市町村 11.0% 311 百万円	その他 6.0% 170 百万円

事業目的・目標

●畑作物の生産振興及び畑作経営の改善を図る。
●地域農業をささえる担い手農家の経営体質を改善し、安定した農業経営の確立を目指す。
●担い手への農地集積を維持する。
●事業実施により安全・安心な食の生産をささえる。

【アウトカム】

●事業実施前（H28年（2016年））の担い手農地利用集積率（受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合）は97.6%である。本事業を実施することにより事業完了翌年には98.6%への向上が見込まれる。

事業概要

本地区は上士幌町の南東部に位置する酪農と畑作農家が混在する地域である。地区内では排水不良土壌による湿害、石礫による営農障害があり、作物生産活動への影響や、未整備排水路による湛水被害、未整備砂利道による作物輸送への影響が発生している。また、適正な家畜ふん尿の処理及び、良質な土づくりを推進するため、本事業を実施する。

工事費内訳

		（百万円）前回評価	（百万円）今回評価
受益面積	A=509ha→A=892ha		
受益戸数	40戸→50戸		
○排水路	L=753m	89	119
○農道	L=1,030m	224	268
○区画整理	A=315ha→A=762ha	380	859
○暗渠排水	A=74ha→A=0ha	141	0
○除礫	A=16ha→A=11ha	40	43
○農業集落環境管理施設	1式	740	1,325
○測量設計費	調査・設計	133	187
○用地買収補償費	用地買収・物件補償	13	25
計		1,760	2,826

総合計画での位置付け

施策名	農業農村整備の推進	総合計画：大項目	経済・産業
総合計画：中項目	農林水産業の持続的な成長	総合計画：小項目	潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり
施策目標	地域の個性や創造力を活かした農業・農村の持続的発展に向けて「いのちの源「食」の生産をささえる」「多様な担い手と地域をささえる」「豊かな農村環境をささえる」の３つを整備の基本方針とし、地域の実情に即した生産基盤等の計画的な整備を進める。	関連する指標	食料自給率（カロリーベース） 令和7年度（2025年度）　目標値：258%

Ⅱ　公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初	H29 (2017)	H29 (2017)		H36 (2024)			1,760	493			
前回評価											
今回評価	H29 (2017)	H29 (2017)	R3 (2021)	R6 (2024)	4		2,826	791	235	1,849	65%

変更理由・内容

(1)区画整理について、整備要望の取り込みによる事業量、事業費の増。(2)暗渠排水、除礫について、区画整理への移行による事業量、事業費の減。(3)農業集落環境管理施設について、家畜ふん尿等の処理量の見直しによる事業費の増 。(4)自然増及び消費税率の改正による事業費の増。(5)区画整理について、ほ場の湿害を解消するため新たにほ場を追加したことによる事業量、事業費の増。(6)除礫について、含礫量の変更による事業費の増。(7)農業集落環境管理施設について、附帯施設の追加等による事業費の増。(8)積算基準の改正による事業費の増。

Ⅲ　事業採択前の状況

1．事業採択に至る経過と背景

本地区では、排水不良土壌による湿害、石礫による営農障害があり、作物生産活動への影響や、未整備排水路による湛水被害、未整備砂利道による作物輸送への影響が発生している。また、地区内における家畜ふん尿の適正な処理と良質な土づくりを推進し、持続的な循環型農業の確立を図るために、上士幌町から事業採択に向けた要望が出されている。

2．事業検討の手続（住民ﾆｰｽﾞの把握等）

- H25年(2013年)10月　上士幌町から十勝総合振興局に調査計画を要望
- H26年(2014年)　8月　十勝総合振興局で地域の整備要望を踏まえ、調査開始
- H28年(2016年)11月　農林水産省へ事業申請
- H29年(2017年)　4月　事業採択

3．事業効果を及ぼす地域・対象

- 上士幌町
  受益面積　509ha、受益戸数　40戸

4．関連する事業

事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容

Ⅳ　事業の実施状況

1．進捗状況

（1）事業実績及び今後の計画

施工（工種）区分	工事内容	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況	事業費（百万円）
排水路	L=753m		L=742m				L=11m			90%	119
農　道	L=1,030m						L=1,030m			0%	268
区画整理	A=762ha		A=487ha				A=275ha			44%	859
除　礫	A=11ha		A=9ha				A=2ha			85%	43
農業集落環境管理施設	1式		1式				1式			84%	1,325
測量設計費	調査・設計					実施設計等				87%	187
用地買収補償費	用地買収・物件補償		用地買収・建物移設補償				立木補償			45%	25

（2）進捗状況

排水路、区画整理、除礫、農業集落環境管理施設については、予定どおり進捗しており、農道について、これまで測量等の調査を進めており、今後の実施に当たっても、特に大きな支障となるものはない。

a	a：概ね予定どおり実施している。 b：事業計画・期間等を変更し実施する。 c：問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2．事業効果

経済効果の内訳（百万円）項目	R3現在	費用の内訳（百万円）項目	R3現在	B／C R3現在
作物生産効果	1,459	区画整理	1,114	
品質向上効果	1	除礫	56	
営農経費節減効果	1,912	農業用用排水施設	181	
維持管理費節減効果	1,032	農道	422	
営農に係る走行経費節減効果	869	農業集落環境管理施設	2,125	
農業労働環境改善効果	9	関連施設	310	
地域エネルギー活用効果	68			
一般交通等経費節減効果	△１			
国産農産物安定供給効果	335			
合計（B）	5,684	合計（C）	4,208	1.35

前回算定年度　：平成27年度（2015年度）【事前評価】
前回算定時B/C　：1.26
変更理由　：

- 事業費の増額に伴う費用の増加
- 算定年度変更による諸係数・単価の入れ替えに伴う精査
- 農業労働環境改善効果、地域エネルギー活用効果の計上に伴う便益の増加
- 農業集落環境管理施設の現況施設の維持管理費の増による便益の増

備考

- 「農村生活環境整備費用対効果分析マニュアル」（農林水産省H20）及び「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」（農林水産省H30改正）に基づき算出
- 経済効果の合計と費用の合計は、「工期＋40年」の累計で算出しR3年度に現在価値化している。
- 費用の合計は現在価値化しているため事業費と異なる。
- 農業用排水施設と接続する既設排水施設等及び暗渠排水の前歴事業にかかる費用を「関連施設」として計上している。
- 一般交通等経費節減効果は、現施設の走行経費に対して、再整備した場合の走行経費の増減及び事業を実施せず迂回路を走行した場合の経費の増減の合計により、マイナスとなる。

3．コスト縮減などの取組

取組の項目	取組内容	縮減額（百万円）
計画・設計の最適化	既存暗渠の機能診断を実施し、現場条件に応じて補助暗渠工法を適用	60

Ⅴ 評　価

1．必要性	●本地区は、未だ未整備区域が存在し、排水不良土壌による湿害や、ほ場の褶曲や石礫による営農障害が解消されていないほ場が存在し、また、未整備排水路による湛水被害や未整備砂利道による作物輸送への影響があることから、本事業による整備が必要となっている。また、家畜ふん尿の処理と良質な土づくりを推進するため、本事業により農業集落環境管理施設を整備する必要がある。 ●事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。
	a　a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。　b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。
2．事業を推進する上での課題	**（1）環境上の配慮及び課題** ●周辺環境に配慮し、機械施工の際は騒音・振動の発生を極力抑える。 ※直近の評価以降の状況変化はない。
	（2）事業推進に対する住民の動向 ●十勝圏活性化推進期成会から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。
	（3）その他の課題 ●特になし
3．事業達成の見込み	今後の事業実施に当たって特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込である。
	a　a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。
4．対処方針	農地・農業施設の整備水準の向上に大きく寄与し、地域農業の維持に大きく貢献するとともに国民への食料の安定供給に資することから事業を継続する。
	a　a：継続　b：終了　c：休止　d：中止

事業期間変更の有無	無	事業費変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更	左記以外の変更
					無	有

Ⅵ 備　考

1．評価履歴	事前評価：平成27年度（2015年度）評価　評価結果：要望を行うことは妥当　B／C：1.26 再評価：該当なし
2．その他の取組事項	

補足資料

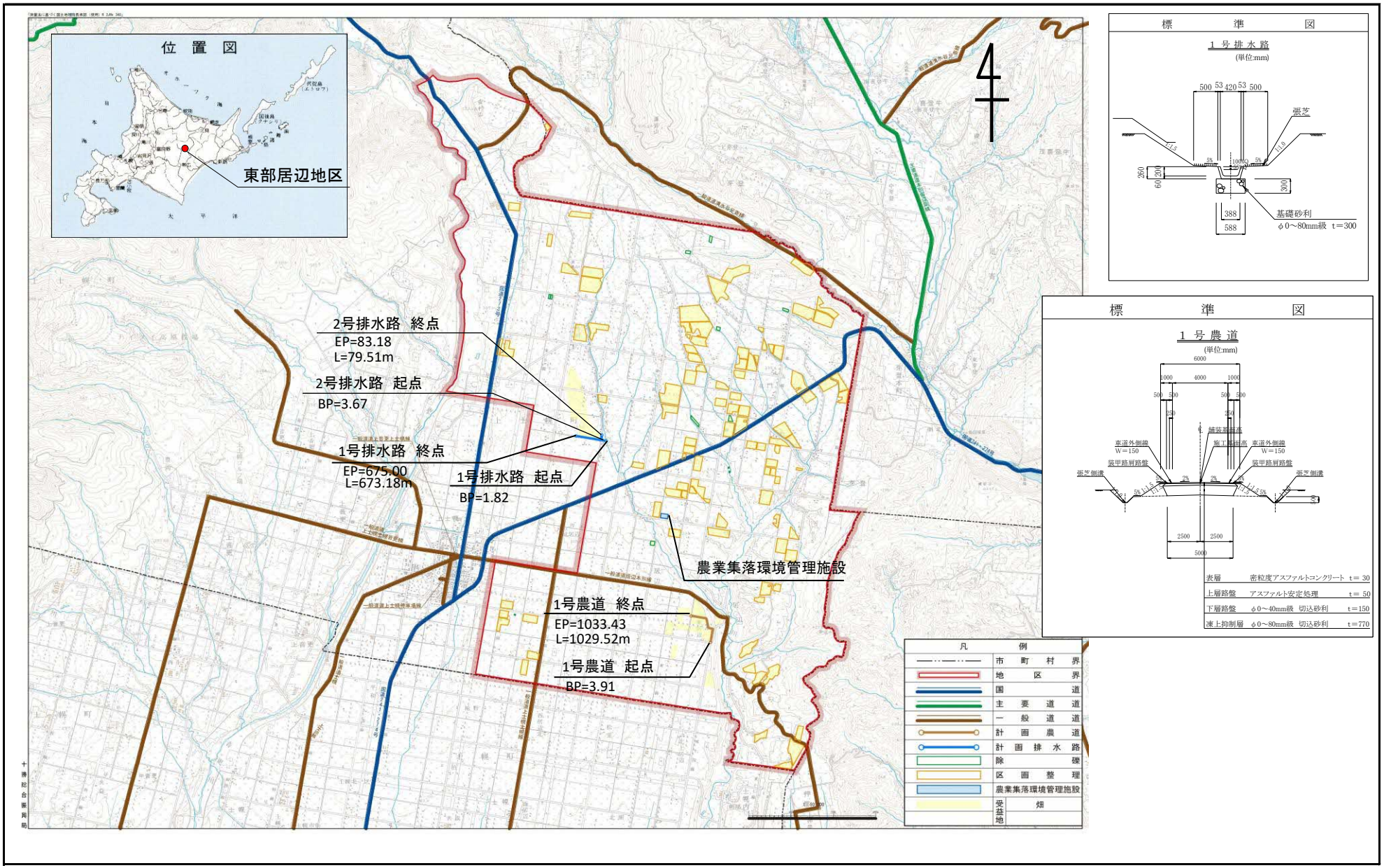
Ⅶ 事業計画変更

（単位：百万円）

事業経過		再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価又は当初		H29 (2017)	H29 (2017)		H36 (2024)			1,760	493			
	変更①		H29 (2017)	H29 (2017)	H29 (2017)	H36 (2024)			1,950	546			
	変更②				R1 (2019)	R6 (2024)			2,637	738			
	変更③	1回目			R3 (2021)	R6 (2024)			2,826	791	235	1,849	65%
	変更④												
	変更⑤												
	変更⑥												
	変更⑦												
	変更⑧												
	変更⑨												
	変更⑩						4						

変更理由・内容	変更①（採択時）：事業量及び事業費の変更 ・区画整理について、整備要望の取り込みによる事業量、事業費の増。 ・暗渠排水、除礫について、区画整理への移行による事業量、事業費の減。 ・農業集落環境管理施設について、家畜ふん尿等の処理量の見直しによる事業費の増 。 変更②（第1回計画変更）：事業量及び事業費の変更 ・自然増及び消費税率（8%→10%）の改正による事業費の増 ・区画整理について、ほ場の湿害を解消するため新たにほ場を追加したことによる事業量、事業費の増 ・除礫について、含礫量の変更による事業費の増 ・農業集落環境管理施設について、搬入原料を調査した結果、前処理（破砕施設）の追加等による事業費の増 変更③（R3.8.1時点）：事業費の変更 ・自然増による事業費の増 ・区画整理及び除礫について、積算基準の改正による事業費の増

事業概要図

事業名	水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備中山間地域型）	地区名	東部居辺地区

事業地区位置図